

全佛婦

No. 140
2025年新年号
1月1日発行



公益社団法人
全日本仏教婦人連盟

全佛婦140号

令和7年1月1日 発行日

編集委員 編集人

花岡真理子 発行人

発行所

公益社団法人 全日本仏教婦人連盟

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷

4-5-10-205

03-5772-0677 電話

<http://jbwf.jp> URL

info@jbwf.jp MAIL

本多良之師 表紙画



年頭によせて



公益社団法人全日本仏教婦人連盟
会長 東伏見具子

新年おめでとうございます
令和七年の幕開けです。

昨年は元旦に石川能登半島の大地震
が起きました。復興もままならない
うちに九月の大雨で再度大きな被害に見
舞われました。

仏婦からわざわざかではありませんが、
寄進させていただきました。被災され
ました皆様方が一日も早く元の生活に
戻られます事を念じております。

地球温暖化は急激に進んでいます。
その原因となっているガスには様々な
ものがありますが、中でも二酸化炭素
は最も影響度が大きいガスです。これ

らの温室ガスが大量に排出されて大気
中の濃度が高まり熱の吸収が増えた結
果気温が上昇しているのです。

IPCC第6次評価報告書による
と、今世紀末までに、3.3度〜5.7
度上昇すると予測されています。それ
に伴って海水温が上昇し、氷河などの
融解によって水面が82cm上昇すると言
われています。農作物、野生動物、海
の生きもの等々、その影響力は計り知
れないものがあります。

仏婦のスローガンである「**子供たちの
ために美しい地球を**」は、もう夢物語

となってしまうのでしょうか？

NHK「地球のミライ」気候変動に
対して私たちが出来る5つのこと。と
言うサイトがあります。

- ①正しい情報を集める
- ②声をあげると世界が変わる

声を上げることで社会のシステムに
変化が起きれば、関心がなかった人も
含めて皆が気候変動に取り組むことが
新しい常識となる。「自分ひとりでは
できるの？」と違ってあきらめては
いけないのです。

③生活を見直す

プラスチックをなるべく使わないよ
うにするとか…ホテルや飲食店等で環
境に配慮した商品が置かれるように
なっています。

とありました。

これらのことを意識していただく
だけで見方が変わってくるのではないで
しょうか。

松下幸之助氏の言葉に

「自分で決められる事を幸せと呼ぶ」
「周りの人によかれと思われる事をす
るのが人生」とあります。

今年一年皆様のご健康とご多幸をお
祈り申し上げます。 合掌



周りの人に
よかれと思われる事を
するのが人生

自分で
決められる事を
幸せと呼ぶ

天地宇宙の真理に気づく—— 「仏戒」について

今こころを

おこして

どこへ行くこうと

するのか

愛知専門尼僧堂・特別尼僧堂堂長

青山俊董 老師



青山俊董◎あおやましゅんどう

昭和8年、愛知県一宮市に生まれる。5歳の頃、長野県塩尻市の曹洞宗無量寺に入門。15歳で得度し、愛知専門尼僧堂に入り修行。その後、駒澤大学仏教学部、同大学院、曹洞宗教化研修所を経て、39年より愛知専門尼僧堂に勤務。51年、堂長に。59年より特別尼僧堂堂長および正法寺住職を兼ねる。現在、無量寺東堂も兼務。昭和54、62年、東西靈性交流の日本代表として訪欧、修道院生活を体験。昭和46、57年、平成23年インドを訪問。仏跡巡拝、並びにマザー・テレサの救済活動を体験。昭和59年、平成9、17年に訪米。アメリカ各地を巡回布教する。参禅指導、講演、執筆に活躍するほか、茶道、華道の教授としても禅の普及に努めている。
平成16年、女性では二人目の仏教伝道功労賞を受賞。21年、曹洞宗の僧階「大教師」に尼僧として初めて就任。明光寺(博多)僧堂師家。

「今日 空 晴れぬ」
柳宗悦やなぎむねたしという人の言葉に、

「今日 空 晴れぬ」

という言葉があります。柳宗悦という方は、民芸運動をされたお方で、大変すばらしい方でした。爽やかに晴れ渡った空を仰ぎ見ると、みんな、すがすがしい気持ちになりますね。天気の話ではありません。いつも「今日 空 晴れぬ」というような心持ちや顔ということですよ。その方のお顔を見ただけで爽やかに。その方の姿を見ただけで嬉しくなる。そういう姿、いつもそんな心でいる。それが

「今日 空 晴れぬ」という言葉の心なんです。

わたしが親しくしていたお方、みなさん、よくご存知の相田みつをさんの詩に、

あなたがそこに
ただいるだけで
その場の空気が
あかるくなる
あなたがそこに
ただいるだけで
みんなのところが
やすらぐ
そんな
あなたにわたしも
なりたい

という詩があります。このようにおしゃべりするわけじゃなくて、その方が一緒にいてくださる、というだけで、その方のお姿を仰ぎ見ただけで、心が安らかに。温かくなる、生きてゆく勇気が湧いてくる。そんなお方がいるんですね。それが柳宗悦さんのおっしゃる「今日 空 晴れぬ」という言葉で表す心なのです。

昨年の暮れ(平成二十八年十二月)、三十日に、わたしが久しく親しくさせていたたいておりました渡辺和子先生が、八十九歳でお亡くなりになりました。岡山のノートルダム女子大の学長を三十五歳の頃から務

られておりました。

この和子先生の言葉で、

「不機嫌な顔をして歩いているだけで、環境破壊もはなはだし。ダイオキシンをふりまいて歩いているようなものだ」

とおっしゃった言葉を思い出します。

ちようど、柳宗悦さんの「今日 空 晴れぬ」という言葉と対照的な言葉です。お互いさまに人生いろいろあるに決まっておりますけれども、受け止め方一つで違ってきます。常に「今日 空 晴れぬ」というような顔をして、姿をして、「その方のお姿を見ただけで、その方と接するだけで、楽しくなる。よろこびがいただける。安らかなる」、そんなお互いになれるように、お授戒を通して学ぶことができたらいいな、と思います。





弥勒菩薩さま

「ほとけさまのサイン」

編集・発行 天台宗出版室

浦井正明師：「阿弥陀さまはなぜ九ツもの印相を示しておられるのか。お不動さまはどうして怖いお顔をして、剣などをお持ちなのか。本書はこうした疑問にお答えするために書いたものである。(中略) 仏さまは本来拝まれるために造られるのである。いいかえれば、私たちが仏さまに何を願い、仏さまはそれにどう応えてくださるのかということなのである。」

著者略歴

【浦井正明(うらいしょうみょう)】

昭和12年東京生まれ。天台宗僧侶。東叡山輪王寺門跡門主・寛永寺貫首。慶應義塾大学文学部史学科卒業。東叡山現龍院前住職。寛永寺執事長、台東区教育委員会委員長、台東区文化財保護審議会委員等を歴任。『もうひとつの徳川物語 将軍家霊廟の謎』等著書多数。



図1

大仏師 山高龍雲作

ほとけ
さまの
サイン
Sign

弥勒さまは未来仏

弥勒菩薩さまは、サンスクリット語でマイトレヤヤと申し上げられます。マイトレヤヤとは「慈から生まれたもの」という意味です。ですから、この菩薩さまのことを慈氏菩薩さまとも呼びます。

また、このマイトレヤヤという言葉自体が慈を表す「ミトラ」という言葉から出ていますので、このミトラを音写し弥勒菩薩さまと申し上げます。

弥勒菩薩さまのことを述べた經典によりますと、弥勒さまはインドの名家(バラモン)に生まれた実在の人物であるといわれます。

弥勒さまは若くして、お釈迦様のお弟子となり、修行を重ね、ついにお釈迦さまから、未来には必ず如来(仏)になれるとの保証(授記)をいただくのです。こうしたことから、この弥勒菩薩さまを未来仏とか当来仏(当に來たるべき仏)ともお呼びするのです。

また、このように弥勒菩薩さまは、今の一生を終えると、次の世には必ずお釈迦さまの位処を補って下さる

当てて、将来どうやって人々を救ってあげようかと考えて(思惟)おられるお姿です。(図1)

ただ、こうした思惟のお姿の殆どは奈良時代までで、平安時代になると、塔をつけた宝冠をかぶったり、手に多宝塔(後には五輪塔)を持ったようなお姿が多くなっています。

布袋さんは弥勒さま

皆さまは布袋さんをごぞんじだと思えます。そうです、あの七福神の中の布袋さんです。何時も笑いながら、大きな袋を背負っている太鼓腹の和尚さんです。

実は、中国でも弥勒菩薩さまは広く信仰されていました。そして、やがて、八世紀後半の実在の人物である布袋(契此)さんが弥勒さまの化身であると考えられるようになりました。今でも中国のお寺にはよくこの布袋さんが弥勒さまとしてお祀りされています。日本でも皆さまごぞんじの宇治の萬福寺の大きな布袋さまは実は弥勒菩薩さまとしてお祀りされているのです。

仏になると保証されているわけですから、一生補処の菩薩さまとも申し上げます。

兜率天の弥勒さま

今、この弥勒菩薩さまは、仏教の宇宙観で人間の住む世界とされた須弥山という処の上空に在る兜率天という処におられ、帝釈天や四天王などにいろいろの教えを説いておられます。

そして、まったく気の遠くなるような先のことですが、この菩薩さまは五十六億七千万年後には再び、こゝろは弥勒如来として人間界に下生され、人々を救って下さるのです。この下生された時のお姿を、お釈迦さまと同じ如来のお姿としてお祀りすることもあります。

どうしようかな

ところで、弥勒さまにはもう一つのお姿があります。それは皆さまお馴染みの半跏思惟のお姿です。左の足を踏み下して、腰掛けるように坐り(半跏)、右手をそつと頬に

藤原道長と弥勒さま

皆さまは「末法」という言葉をお聞きになったことがありだと思えます。

仏教では、お釈迦さまが入滅されたから五百年間は正法、次の千年間を像法、それ以降の時代を末法といひ、段々に世の中が悪くなって、末法の世には、わずかにお釈迦さまの教えだけが伝わっているに過ぎないと考えました。そして、この末法の世に下生されて、人々を救って下さるのが弥勒菩薩さまというわけです。人々は何とか尊いお経だけでも後の世に伝えたいと願ひ、経塚を造り、青銅や焼き物の経筒に入れたお経を埋納して供養しました。

その最も代表的な例が関白藤原道長の埋納経です。吉野の金峯山から出土した法華経は、寛弘四(一〇〇七)年に、道長自身が血書したものです。道長はこうした功德を積むことによって、その死と共に兜率天の弥勒さまの下に生れ変わり、やがて、五十六億七千万年後に弥勒さまと共にこの世に戻りたいと願ったのです。

祝辞

公益財団法人全日本仏教会

理事長 池田行信

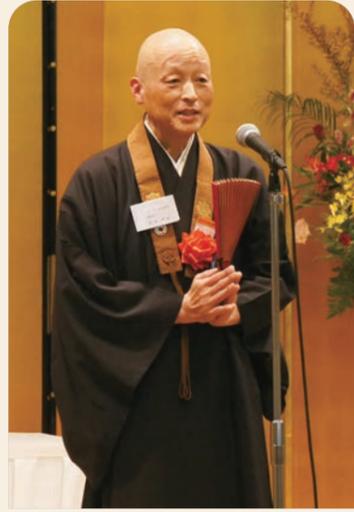
本日ここに、第71回公益社団法人全日本仏教婦人連盟大会が開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

全日本仏教婦人連盟様におかれましては、昭和29年の設立以来、「女性の立場」から社会および家庭生活の中に「仏教精神」をつちかい、慈悲の心、人の気持ちのわかる人間を育成するとともに、さまざまな社会福祉事業に取り組んでおられます。長年にわたるご尽力に対しまして、改めて敬意を表する次第であります。

貴連盟様には、日頃より私ども全日本仏教会の活動に対し、深いご理解とご協力を賜っておりますこと、あわせて御礼申し上げます。

また、今年の元日に発生した令和6年能登半島地震の被災地支援として貴連盟様より多額の支援金をご寄託頂いておりますこと、重ねて御礼申し上げます。

能登地方においては、地震の復旧途上の最中、9月の大雨による水害が更なる追い打ちをするという過酷な状況の中、被災された方々は、言葉にならない



ほどの苦痛を抱えられているものと拝察いたします。

あらためて、被害に遭われた皆様、ならびにそのご家族の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の皆様が一日も早く平穏な日常を取り戻されることを念じいたします。

貴連盟様はじめ、皆様方からお寄せいただきました支援金は、被災地支援の一助としてお役立ていただくよう、お届けしたいと存じます。

ご高承のとおり、わたくしども全日本仏教会は、日本の伝統仏教教団59宗派、37都道府県仏教会、そして9の仏教団体によって構成される連合組織でございます。国内外における諸問題に関する提言と発信、災害における人道支援、仏教文化の振興等、多くの責務を担ってお

り、全日本仏教婦人連盟様には、日頃より本会の活動にご理解いただき、社会および家庭生活の中で培われた仏教精神を基調とし、社会福祉への貢献や世界平和の推進にご協力をいただいております。

今、世界は戦争や貧困と飢餓、気候変動など未曾有の困難な事態に直面し、先の見えない不安と混迷の中にあり、仏教界を取り巻く状況も大変厳しいものとなっております。

全日本仏教会といたしましては、本会諸事業の運営等を通じて、今後も仏教文化の宣揚と世界平和に寄与すべく、加盟いただいている全国約七万五千有余の寺院が宗派の垣根を越えて団結し、様々な問題に取り組むことができるよう、より一層精進して参る所存でございます。

皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻をお願い申し上げますと共に、全日本仏教婦人連盟様の益々のご発展と本日ご参集の皆様のご健勝とご活躍を念じ上げましてお祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

合掌

令和6年10月30日

代読 事務総長 和田学英



中村康雅理事長よりインド・ブッタガヤでの報告をいただき、中でも菩提樹学園の園児と母親に向けての母子衛生教育に従事している光明施療院の活動は、40年前に開院した当連盟の先人たちの努力が実を結んでいると実感致しました。次に（公財）全国青少年教化協議会の神仁代表執行理事へ能登半島地震災害支援として120万円の目録が会長より贈呈されました。第二部は花岡眞理子理事長の

食事や歓談の合間に今回の清興、箏の山内彩氏、長谷由香氏の素晴らしい演奏を楽しみました。なお、心の募金の呼びかけには、皆様から15万7千円の心温まるご協力がありましたので福祉基金としてお預かりいたしました。来賓、会員皆様と一緒に仏婦の歌を合唱し、最後に加用稔子副会長が謝辞を述べ和やかな雰囲気の中に無事に閉会いたしました。皆様と心が温まるひとときを過ごす事ができました。

10月30日（水）、第71回全日本仏教婦人連盟大会が東京プリンスホテル「マグノリアホール」にてご来賓、会員あわせて80名の参加をいただき開催されました。第一部では、御導師笹川悦導

り法要が厳粛にとり行われ、引き続き笹川悦導老師からご挨拶を賜りました。東伏見具子会長の挨拶、ご来賓の（公財）全日本仏教会和田学英事務総長のご祝辞に続き、（公財）国際仏教興隆協会に当連盟より寄付350万円の目録が会長より贈呈されました。

挨拶で始まり、東大寺長老・印度山日本寺竺主北河原公敬師の乾杯のご発声をいただき懇談会が開始されました。ご来賓を代表して大阪府佛教会村山廣甫会長が挨拶され、来年9月に開催される第47回全日本仏教徒大阪大会への参加を呼びかけました。



第71回 公益社団法人

全日本仏教婦人連盟大会



写真提供：仏教タイムス

SDGs

SDGs（持続可能な開発目標）は、生命の地球を未来の人々に残すために国連が採択した17の目標で、2025年は残り5年の折り返しの年です。目標のうち、気候変動、環境、食料と水、戦争、貧困、エネルギーなどの問題に共通する原因のひとつは地球温暖化です。温暖化を進行させないために私たちができることを考えます。

温暖化と私たちの生活

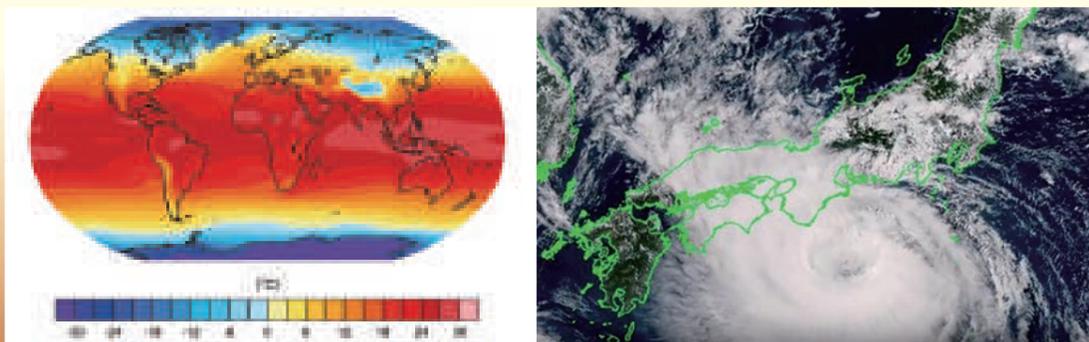


浄土宗長福寺住職
中央大学共同研究員

窪川香薫

ひとりひとりが
できること

令和6年の夏は酷暑でした。1898年に始まる気象庁の統計開始では令和5年と同じく最も高い気温で、連日の熱中症警戒アラートに警戒しつつ過ぎ、地球が温暖化していると感じられる夏でした。日本列島はさらに線状降雨帯や猛烈な台風にもたびたび見舞われ、気象による危機を実感する年でした。それは短い秋に続く酷寒と大雪の冬に続いています。今年の気象はどうなることでしょうか。温暖化、すなわち気温の上昇がもたらす様々な気候危機は、地球全体に及び、自然災害、食糧不足、水不足、貧困、健康被害につながります。このシナリオを阻止するために、気温の上昇を1.5℃に抑えることが195の国と地域が関係する「気候変動に関する政府間パネル」（IPCC）から示されました。また、2015年9月に国連総会で採択された持続可



ひとりひとりが
できること

食料も水も命の源です。住居も教育も生きる基本です。SDGsは誰一人残さないことをスローガンにしていますが、世界人口は現在約82億人で増え続けており、有言実行は簡単で

増やしました。栄養豊富で万能食材であるトマトは高価で減多に使えなくなりました。買えると喜んだキャベツは1/4個でした。畜産動物も高温がストレスになり畜産家は対応に追われています。漁業は海水温の上昇で、低温に生息する日本のサケやイカなど北方の水産物が採れなくなり、暖い海のカツオが採れたり、ブリが大量だったりにしています。



はありません。日本は、人口が減少し続けていますが、外国人を含めて1億2488万人強と世界12位です。食料も水も住居も教育も基本的にはあります。私たちが温暖化とその影響を理解し、続く未来の世の誰かのために、僅かであっても出来ることはあります。

年初にあたり、無駄を減らす努力をしてみませんか。エネルギーの無駄、食品の無駄を減らし、プラスチックの分別や節水をもっと出来るかもしれません。次号では食品ロスと温暖化について詳しく考えたいと思います。



13 気候変動に 具体的な対策を



能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち目標13「気候変動に具体的な対策を」で、温暖化の進行を止めることを国や地域に求めています。それらは、国の政策に温暖化対策を盛り込むこと、地球温暖化に対する正しい知識を得ることや教育が行われること、さらに開発途上国と先進国とが協力することです。2030年ま

での目標達成は、残り5年で難しいと言わざるを得ません。世界を見渡せば、戦争、甚大な自然災害、教育の不平等、貧困、病などがいたるところにあり、温暖化とは無縁のように思えます。しかし、

実際はこれらの問題は温暖化と深い関係があります。私たちが出来ることをすれば、ひとりから人々に、人々から世界に広がる可能性があります。まず温暖化の原因を理解すること、そし

て小さなことでも実践することです。

温暖化の原因のほとんどは、産業から出る温室効果ガスですが、生活から出る温室効果ガスの蓄積も原因になります。温室効果ガスには、二酸化炭素、メタン、フロン類

があり、それらは太陽の熱を吸収して大気を温めます。二酸化炭素は、物を燃やせば出てきます。逆に二酸化炭素を吸収する樹木を伐採すれば、減らずに溜まっていきます。私たちは自分の身近に原因を見つけることが出来ます。

次に、私たちの身近に起きる温暖化の結果を知ること大切ですが、気候危機は未来の食料危機につながります。令和6年の猛暑、豪雨、干ばつ、台風は、農作物の生育を劣化させ、害虫被害を



新年賀謹

乙巳 令和七年

<p>公益財団法人 日本仏教保育協会</p> <p>名譽会長 小澤憲珠 理事長 高山久照</p> <p>〒110-0101 東京都港区芝公園四一七四 ☎03-3432-7475</p>	<p>公益財団法人 仏教伝道協会</p> <p>会長 木村清孝 理事長 沼田恵明 理事 松丸壽雄 同 門脇邦彦 同 野村邦武</p> <p>〒108-0014 東京都港区芝四一三一四 ☎03-3455-5851 URL: https://www.adk.or.jp</p>	<p>全日本仏教青年会</p> <p>理事長 新井順證</p> <p>【事務局】〒543-0051 四天王寺内 大阪市天王寺区四天王寺一11-118 ☎06-6771-0066</p>	<p>全日本仏教尼僧法団</p> <p>総裁 鷹司誓玉 副総裁 日野西光尊 顧問 青山俊董</p> <p>〒160-0011 東京都新宿区新宿六一五12 西光庵内 ☎03-3200-7811</p>	<p>子ども支援ネットワーク</p> <p>公益財団法人 全国青少年教化協議会</p> <p>〒104-0045 東京都中央区築地三1715 築地Aビル5F ☎03-3541-6725</p>	<p>世界連邦日本宗教委員会</p> <p>会長 田中恆清</p> <p>〒614-8588 京都府八幡市八幡高坊三〇 石清水八幡宮内 ☎FAX 075-981-3001</p>
<p>公益財団法人 国際仏教興隆協会</p> <p>日本寺主 北河原公敬 理事長 中村康雅 事務総長 佐藤一彦</p> <p>〒153-0061 東京都目黒区中目黒五124153 ☎03-3711-7608 FAX 03-3711-7673 E-mail: jfmkyoku@iba.jp</p>	<p>一般社団法人 仏教情報センター</p> <p>理事長 白川淳敬</p> <p>〒113-0033 東京都文京区本郷一14161202 ☎03-3813-1657 FAX 03-3813-1679</p>	<p>一般社団法人 日本仏教鑽仰会</p> <p>代表理事 中山斉栄</p> <p>〒174-0004 東京都板橋区舟渡四11511 ☎FAX 03-3967-3288</p>	<p>浄土宗総本山 知恩院門跡</p> <p>浄土門主 伊藤唯眞</p> <p>〒605-1868 京都市東山区林下町四〇〇 総本山知恩院内 ☎075-531-1111</p>	<p>三十三間堂本坊 妙法院門跡</p> <p>門主 杉谷義純</p> <p>〒605-0931 京都市東山区東山七条上ル ☎075-561-0467 FAX 075-561-6698</p>	

〈順不同〉

新年賀謹

乙巳 令和七年

<p>公益財団法人 全日本仏教会 WEB: 世界仏教連盟日本センター</p> <p>会長 伊藤唯眞 理事長 池田行信</p> <p>〒105-0011 東京都港区芝公園四一七114 ☎03-3437-9275 URL: https://www.jbfa.jp E-mail: info@jbfa.jp</p>	<p>曹洞宗宗務庁</p> <p>管長 南澤道人</p> <p>宗務総長 服部秀世 参議 熊谷紘全 参議 渡邊義弘 教学部長 深川典雄 人事部長 喜美候部謙史</p> <p>〒158-8404 東京都港区芝一1511 ☎03-3454-5411 URL: https://www.sotzen-net.or.jp</p>	<p>浄土宗</p> <p>宗務総長 川中光教</p> <p>〒605-0062 京都市東山区林下町四〇〇18 ☎075-525-2100(代)</p>	<p>日蓮宗宗務院</p> <p>宗務総長 田中恵紳</p> <p>〒146-1854 東京都大田区池上二131115 ☎03-3751-7181 FAX 03-3751-7186 URL: https://www.nichiren.or.jp</p>	<p>天台宗</p> <p>宗務総長 細野舜海</p> <p>〒520-0113 滋賀県大津市坂本四1612 ☎077-579-0021</p>	<p>一般財団法人 京都仏教会</p> <p>理事長 有馬頼底 事務局長 長沢香静</p> <p>〒602-0898 京都市上京区今出川通烏丸東入 相國寺門前町六三六一1 ☎075-123-1697(五)</p>
<p>真言宗智山派宗務庁</p> <p>宗務総長 三神栄法</p> <p>〒605-1095 京都市東山区東大路通り七条下ル 東瓦町九六四 ☎075-541-5361</p>	<p>真言宗豊山派宗務所</p> <p>宗務総長 川田興聖</p> <p>〒112-0012 東京都文京区大塚五14018 ☎03-3945-0639(代) FAX 03-3945-0701</p>	<p>東京都仏教連合会</p> <p>会長 田中昭徳 理事長 三吉廣明</p> <p>〒111-0036 涼源寺内 東京都台東区松が谷二1917 ☎03-3844-9597</p>	<p>大阪府佛教会</p> <p>会長 村山廣甫 事務局長 二上寛弘</p> <p>【事務局】〒552-0011 大阪府港区築港二1313 釈迦院内 ☎06-6571-5710</p>	<p>愛知県仏教会</p> <p>会長 軽部浩史</p> <p>【事務局】〒497-1036 八幡山松秀寺内 愛知県海部郡蟹江町須成西七16611 ☎0567-9513010 FAX 0567-951877</p>	

〈順不同〉

新年 賀 謹

乙巳 令和七年

真言宗智山派 大本山 成田山新勝寺 貫首 岸田照泰 〒二八六一〇〇二三 千葉県成田市成田一番地 ☎〇四七六一二二二二二 FAX〇四七六一二二二二一	真言宗須磨寺派 管長 小池弘三 〒二四六八五七六 東京都大田区池上一一〇一 ☎〇三三三三三三三三三三 FAX〇三三三三三三三三三三	真言宗智山派 大本山 高尾山薬王院 貫首 佐藤秀仁 〒一九三二八六八六 東京都八王子市高尾町二二七七 ☎〇四二一六六一二二二二五
孝道山本仏殿 〒二二一〇〇六四 神奈川県横浜市神奈川区鳥越三八番地 ☎〇四五一四三二二二二〇 FAX〇四五一四三二二二〇一	京都 音羽山清水寺 貫主 森清範 〒六〇五〇八六二 京都市東山区清水一丁目二九四 ☎〇七五二五五二二二三四 FAX〇七五二五五二二二三四	真言宗中山寺派 大本山 中山寺 〒六六五二八五八八 兵庫県宝塚市中山寺二丁目一一一 ☎〇七九七二八七二〇〇二四 FAX〇七九七二八七二〇〇二四
大雄山 最乗寺 山主 増田友厚 〒三五〇一〇三七 神奈川県南足柄市大雄町一一五七 ☎〇四六五二七四一三二二二 FAX〇四六五二七三二二四六	真言宗御室派 管長 瀬川大秀 宗務総長 大林實温 〒六一六二八〇九二 京都市右京区御室大内三三三 ☎〇七五二四六一一一一五五 FAX〇七五二四六一四〇七〇	天台真盛宗 総本山 西教寺 〒五二〇一〇一一三 滋賀県大津市坂本五丁目二二二 ☎〇七七二五七八一〇〇二二二

〈順不同〉

新年 賀 謹

乙巳 令和七年

天台宗 三千院門跡 門主 小堀光實 〒六〇一一二四二 京都市左京区大原来迎院町五四〇 ☎〇七五二七四四二五三二 FAX〇七五二七四四二四八〇	法興山 中宮寺 門跡 日野西光尊 〒六三六〇一一一 奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺北一一一 ☎〇七四五二七五二二〇六 FAX〇七四五二七四二九五六	築地本願寺 宗務長 中尾史峰 副宗務長 木村共宏 副宗務長 東森尚人 〒一〇四一八四三五 東京都中央区築地三丁目一五二 ☎〇三三三三四一三二二二
天台宗 青蓮院門跡 門主 東伏見慈晃 〒六〇五二〇三五 京都市東山区粟田口三条坊町六九一 ☎〇七五二五六一三三四五	山村御殿 圓照寺 門跡 萩原道秀 〒六三〇一八四三四 奈良県奈良市山町一三二二 ☎〇七四二二六一七六〇〇	曹洞宗大本山 永平寺 貫首 南澤道人 〒九一〇一二九九 福井県吉田郡永平寺町志比 ☎〇七七六一六三三三〇二
浄土宗大本山 善光寺大本願 法主 鷹司誓玉 〒三八〇一〇八五一 長野市元善町五〇〇 ☎〇二六一三三四一〇一八八 FAX〇二六一三三四一〇一八八	浄土真宗東本願寺派 本山 東本願寺 法主 大谷光見 〒一一一〇〇三二 東京都台東区浅草二二三一 ☎〇三三三八四二一〇一八一五 FAX〇三三三八四二一九五一	真言宗智山派 大本山 川崎大師平間寺 貫首 藤田隆乗 〒二一〇一八五二二 神奈川県川崎市川崎区大師町四四八 ☎〇四四二二六六一三三四二〇

〈順不同〉

新年賀謹

乙巳 令和七年

<p>日蓮宗本山 大坊本行寺</p> <p>貫首 中野日演</p> <p>〒一四六一〇〇八二 東京都大田区池上二一〇一五 ☎〇三三三七五二一〇一五 FAX 〇三三三七五三〇一〇一</p>	<p>法華宗(陣門流)</p> <p>宗務総長 西山英仁</p> <p>〒一七〇一〇〇〇二 東京都豊島区巢鴨五三三五一六 ☎〇三三三九一八一七二九〇 FAX 〇三三三三七六〇一〇二二</p>	<p>真言宗智山派 慈眼寺</p> <p>徳川将軍家日光社参御昼食所</p> <p>住職 上野法忍</p> <p>〒三二九一〇四一四 栃木県下野市小金井一三二六二 ☎〇二八五一四四一三二二六</p>
<p>宗教法人 傳通院</p> <p>貫主 麻生諦善</p> <p>〒一一二一〇〇〇二 東京都文京区小石川三二一四一六 ☎〇三三三八一四一三七〇一</p>	<p>真言宗智山派 上品蓮台寺</p> <p>住職 高井隆成</p> <p>〒六〇三三八三〇三 京都市北区紫野十二坊町三三二一 ☎〇七五二四六一二二三九</p>	<p>天台宗別格本山 深大寺</p> <p>住職 清水英碩</p> <p>〒一八二一〇〇一七 東京都調布市深大寺元町五一五一 ☎〇四二一四八六二五五二</p>
<p>西新井大師 總持寺</p> <p>貫首 濱野堅眞</p> <p>〒一二三三〇八四一 東京都足立区西新井一五一五一 ☎〇三三三八九〇一三三四五</p>	<p>真言宗智山派 田無山總持寺</p> <p>住職 小峰立丸</p> <p>〒一八八〇〇〇一 東京都西東京市田無町三二八一二 ☎〇四二一四六一〇〇四四</p>	<p>浄土宗 淨眞寺</p> <p>住職 清永英碩</p> <p>〒一五八〇〇〇八三 東京都世田谷区奥沢七二四一三 ☎〇三三三七〇一〇二〇二九</p>
<p>聖観音宗 浅草寺</p> <p>執事長 守山雄順</p> <p>〒一一一〇〇〇三二 東京都台東区浅草二一三一 ☎〇三三三八四一〇一八一(代)</p>	<p>別格本山 大須観音寶生院</p> <p>貫主 岡部快圓</p> <p>〒四六〇一〇〇一 名古屋市中区大須二二二一四七 ☎〇五二二二二二一六五二五 FAX 〇五二二二二二一九三三三</p>	<p>別格本山 金剛院</p> <p>住職 山田一能</p> <p>院主 山田一眞</p> <p>〒一九二〇〇九〇二 東京都八王子市上野町三九一〇 ☎〇四二一六二二一九五四</p>
<p>天台宗 三徳山三佛寺</p> <p>住職 米田良中</p> <p>〒六八二一〇一三二 鳥取県東伯郡三朝町三徳一〇一〇 ☎〇八五八四三二二六六六</p>	<p>真言宗豊山派 寿福寺</p> <p>住職 高山久照</p> <p>〒一七九一〇〇七四 東京都練馬区春日町三二二二二 ☎〇三三三九九八二二六二</p>	<p>深沢綜合法律事務所</p> <p>弁護士 柴田龍太郎</p> <p>〒一七〇一六〇二二 東京都豊島区東池袋三二一 サンシャイン60二階二二号 ☎〇三三三九八三二二二六</p>
<p>神田寺 眞理舎</p> <p>住職 友松浩志</p> <p>〒一〇一〇〇〇二一 東京都千代田区外神田三二四一〇 ☎〇三三三三二五二一八六八三</p>	<p>真言宗智山派 五台山竹林寺 住職</p> <p>四国八十八ヶ所霊場会 会長</p> <p>海老塚和秀</p> <p>〒七八一八二二五 高知県高知市五台山三五七七 ☎〇八八八八二二二〇八五 FAX 〇八八八八四一九八九三</p>	<p>長谷川法律事務所</p> <p>弁護士 長谷川正浩</p> <p>弁護士 大島義生</p> <p>弁護士 秋山経生</p> <p>〒二二〇〇三 東京都新宿区新宿一〇九一三 エルスタンザ四階 ☎〇三三三三二一四五四 FAX 〇三三三三二一八七二五</p>
<p>浄土宗 梅窓院</p> <p>住職 中島眞成</p> <p>〒一〇七一〇〇六二 東京都港区南青山二二六一三八 ☎〇三三二四〇四一八四四七 URL: http://www.baisoin.or.jp/</p>	<p>真言宗智山派 寶光院</p> <p>住職 大橋尚玄</p> <p>〒三二九一〇五二四 栃木県河内郡上三川町多功一八八八 ☎〇二八五一五三三〇三八二 FAX 〇二八五一五三三〇三八二</p>	<p>株式会社経営総合研究所</p> <p>代表取締役 荒川昌夫</p> <p>〒一〇五一〇〇〇一 東京都港区虎ノ門五二一三二一 虎ノ門四〇MTビル七階 ☎〇三三三四四〇一六三</p>
<p>浄土宗</p> <p>長専院</p> <p>〒一三五一〇〇二二 東京都江東区三好一六六一三 ☎〇三三三六四一五八四八</p>	<p>浄土真宗東本願寺派 妙清寺</p> <p>住職 本多良之</p> <p>〒一〇一〇〇一五 東京都台東区東上野六一八一七 ☎〇三三三八四四一四三八九</p>	<p>学校法人 梅ヶ原学園理事長</p> <p>認定こども園梅ヶ原幼稚園</p> <p>園長 花岡義樹朗</p> <p>副園長 花岡宏樹朗</p> <p>〒三三三〇八〇七 栃木県小山市城東五一二一〇 ☎〇一八五一二五二二二二 FAX 〇一八五一二五二二二七 ☎ https://www.umegahara.ed.jp ☎ umegahara@major.ocn.ne.jp</p>

〈順不同〉

新年賀謹

乙巳 令和七年

<p>日蓮宗本山 大坊本行寺</p> <p>貫首 中野日演</p> <p>〒一四六一〇〇八二 東京都大田区池上二一〇一五 ☎〇三三三七五二一〇一五 FAX 〇三三三七五三〇一〇一</p>	<p>法華宗(陣門流)</p> <p>宗務総長 西山英仁</p> <p>〒一七〇一〇〇〇二 東京都豊島区巢鴨五三三五一六 ☎〇三三三九一八一七二九〇 FAX 〇三三三三七六〇一〇二二</p>	<p>真言宗智山派 慈眼寺</p> <p>徳川将軍家日光社参御昼食所</p> <p>住職 上野法忍</p> <p>〒三二九一〇四一四 栃木県下野市小金井一三二六二 ☎〇二八五一四四一三二二六</p>
<p>宗教法人 傳通院</p> <p>貫主 麻生諦善</p> <p>〒一一二一〇〇〇二 東京都文京区小石川三二一四一六 ☎〇三三三八一四一三七〇一</p>	<p>真言宗智山派 上品蓮台寺</p> <p>住職 高井隆成</p> <p>〒六〇三三八三〇三 京都市北区紫野十二坊町三三二一 ☎〇七五二四六一二二三九</p>	<p>天台宗別格本山 深大寺</p> <p>住職 清水英碩</p> <p>〒一八二一〇〇一七 東京都調布市深大寺元町五一五一 ☎〇四二一四八六二五五二</p>
<p>西新井大師 總持寺</p> <p>貫首 濱野堅眞</p> <p>〒一二三三〇八四一 東京都足立区西新井一五一五一 ☎〇三三三八九〇一三三四五</p>	<p>真言宗智山派 田無山總持寺</p> <p>住職 小峰立丸</p> <p>〒一八八〇〇〇一 東京都西東京市田無町三二八一二 ☎〇四二一四六一〇〇四四</p>	<p>浄土宗 淨眞寺</p> <p>住職 清永英碩</p> <p>〒一五八〇〇〇八三 東京都世田谷区奥沢七二四一三 ☎〇三三三七〇一〇二〇二九</p>
<p>聖観音宗 浅草寺</p> <p>執事長 守山雄順</p> <p>〒一一一〇〇〇三二 東京都台東区浅草二一三一 ☎〇三三三八四一〇一八一(代)</p>	<p>別格本山 大須観音寶生院</p> <p>貫主 岡部快圓</p> <p>〒四六〇一〇〇一 名古屋市中区大須二二二一四七 ☎〇五二二二二二一六五二五 FAX 〇五二二二二二一九三三三</p>	<p>別格本山 金剛院</p> <p>住職 山田一能</p> <p>院主 山田一眞</p> <p>〒一九二〇〇九〇二 東京都八王子市上野町三九一〇 ☎〇四二一六二二一九五四</p>
<p>天台宗 三徳山三佛寺</p> <p>住職 米田良中</p> <p>〒六八二一〇一三二 鳥取県東伯郡三朝町三徳一〇一〇 ☎〇八五八四三二二六六六</p>	<p>真言宗豊山派 寿福寺</p> <p>住職 高山久照</p> <p>〒一七九一〇〇七四 東京都練馬区春日町三二二二二 ☎〇三三三九九八二二六二</p>	<p>深沢綜合法律事務所</p> <p>弁護士 柴田龍太郎</p> <p>〒一七〇一六〇二二 東京都豊島区東池袋三二一 サンシャイン60二階二二号 ☎〇三三三九八三二二二六</p>
<p>神田寺 眞理舎</p> <p>住職 友松浩志</p> <p>〒一〇一〇〇〇二一 東京都千代田区外神田三二四一〇 ☎〇三三三三二五二一八六八三</p>	<p>真言宗智山派 五台山竹林寺 住職</p> <p>四国八十八ヶ所霊場会 会長</p> <p>海老塚和秀</p> <p>〒七八一八二二五 高知県高知市五台山三五七七 ☎〇八八八八二二二〇八五 FAX 〇八八八八四一九八九三</p>	<p>長谷川法律事務所</p> <p>弁護士 長谷川正浩</p> <p>弁護士 大島義生</p> <p>弁護士 秋山経生</p> <p>〒二二〇〇三 東京都新宿区新宿一〇九一三 エルスタンザ四階 ☎〇三三三三二一四五四 FAX 〇三三三三二一八七二五</p>
<p>浄土宗 梅窓院</p> <p>住職 中島眞成</p> <p>〒一〇七一〇〇六二 東京都港区南青山二二六一三八 ☎〇三三二四〇四一八四四七 URL: http://www.baisoin.or.jp/</p>	<p>真言宗智山派 寶光院</p> <p>住職 大橋尚玄</p> <p>〒三二九一〇五二四 栃木県河内郡上三川町多功一八八八 ☎〇二八五一五三三〇三八二 FAX 〇二八五一五三三〇三八二</p>	<p>株式会社経営総合研究所</p> <p>代表取締役 荒川昌夫</p> <p>〒一〇五一〇〇〇一 東京都港区虎ノ門五二一三二一 虎ノ門四〇MTビル七階 ☎〇三三三四四〇一六三</p>
<p>浄土宗</p> <p>長専院</p> <p>〒一三五一〇〇二二 東京都江東区三好一六六一三 ☎〇三三三六四一五八四八</p>	<p>浄土真宗東本願寺派 妙清寺</p> <p>住職 本多良之</p> <p>〒一〇一〇〇一五 東京都台東区東上野六一八一七 ☎〇三三三八四四一四三八九</p>	<p>学校法人 梅ヶ原学園理事長</p> <p>認定こども園梅ヶ原幼稚園</p> <p>園長 花岡義樹朗</p> <p>副園長 花岡宏樹朗</p> <p>〒三三三〇八〇七 栃木県小山市城東五一二一〇 ☎〇一八五一二五二二二二 FAX 〇一八五一二五二二二七 ☎ https://www.umegahara.ed.jp ☎ umegahara@major.ocn.ne.jp</p>

〈順不同〉

新年賀謹

乙巳 令和七年

<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>理事 松井百合子</p> <p>〒二七二〇一四四 曹洞宗新井寺 千葉県市川市新井一〇九一 ☎〇四七―三五七―八三一九 FAX 〇四七―三五七―八三九九</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>理事 大橋百合子</p> <p>〒三二九一〇五二四 栃木県河内郡上三川町多功一八八八 ☎〇二八五―五三三―八八〇一</p>	<p>真言宗智山派 寶光院 公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>理事 米田陽子</p> <p>〒六八二一〇一三二 鳥取県東伯郡三朝町三徳一〇一〇 ☎〇八五八―四三三―二六六六</p>	<p>天台宗寺院庭婦人連合会顧問 公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>常務理事 桶屋良法</p> <p>〒五三八一〇〇五四 念法眞教 総本山金剛寺 大阪府鶴見区緑三丁目四番二二号 ☎〇六六九―一一二―一〇一 FAX 〇六六九―一一七―六六七</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>理事 湯浅正江</p> <p>〒二八六一〇〇二一 千葉県成田市土屋八 ☎〇四七六―一三二―一三四一</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>理事 村主みや子</p> <p>〒六六五一〇八六一 中山寺総持院 兵庫県宝塚市中山寺二一―一―一 ☎〇七九七―八一―〇〇六五</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>理事 大塚哲子</p> <p>〒三五〇一〇二二 埼玉県坂戸市石井三三三二 ☎〇四九―二八―一〇〇七三</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>理事 木村匡成</p> <p>〒一五一一〇〇五一 東京都渋谷区千駄ヶ谷四一五一―一〇 ☎〇三―一五七―七二一〇六七七</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>維持会員 日比野郁皓</p> <p>〒一一一〇〇五一 東京都台東区蔵前三二二―一九 ☎〇三―一三八―五一一四七二九 FAX 〇三―一三八―五一一九七七〇</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>維持会員 平林宣子</p> <p>〒一三三三〇〇五二 東京都江戸川区東小岩二二―二―四 ☎〇三―一三六―七一四九三五</p>	<p>大和証券株式会社 法人コンサルティング部</p> <p>部長 原良輔</p> <p>〒一〇〇一六七五二 東京都千代田区丸の内一―九―一 グラントウキョウノースター ☎〇三―一五五―五一一二〇三〇</p>	<p>静岡県仏教婦人会</p> <p>会長 村松小鶴枝</p> <p>〒四三九一〇〇三七 静岡県菊川市西方三七八〇―一 ☎〇五三七―三三―五二九三九</p>
--	--	---	--	--	---	---	---	---	---	--	--

〈順不同〉

新年賀謹

乙巳 令和七年

<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>会長 東伏見具子</p> <p>〒六〇五一〇〇三五 京都市東山区粟田口三条坊町 六九一―一 青蓮院門跡 ☎〇七五―一五六―一三三四五</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>副会長 加用稔子</p> <p>〒七三〇一〇〇四一 広島県広島市中区小町二二―一 ☎〇八二―一四一―七四七一</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>副会長 吉田真理</p> <p>〒七三九一〇五九一 広島県廿日市市宮島町二二―一〇 ☎〇八二―九一四―四一〇一一一</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>顧問 林恵智子</p> <p>〒三五九一―一一一六 埼玉県所沢市東町二四―一 ☎〇九〇―一五五―〇〇一三四九四</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>参与 鈴木トヨ子</p> <p>〒一六八一〇〇七四 東京都杉並区上高井戸一―二七―一五 ☎〇三―一三三―〇二一五八六七</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>参与 末廣久美</p> <p>〒一一〇一〇〇〇一 東京都台東区谷中一―一六―二七 ☎〇三―一三八―二一四五一九</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>参与 鈴木トヨ子</p> <p>〒二二一―一〇〇六四 神奈川県横浜市神奈川区鳥越三八番地 ☎〇四五一―四三二―一三〇一〇一(代)</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>参与 鈴木トヨ子</p> <p>〒二七三―一〇八五三 千葉県船橋市金杉六一―二五―一 ☎〇四七―四四八―二八三三</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>参与 鈴木トヨ子</p> <p>〒一四〇一〇〇一五 東京都品川区西大井五―一三―二五 ☎〇三―一三七―七一四八一六</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>参与 鈴木トヨ子</p> <p>〒七八一―一八二二五 高知県高知市五台山三五七七 ☎〇八八―一八八―二一三〇八五</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>参与 鈴木トヨ子</p> <p>〒二七三―一〇八五三 千葉県船橋市金杉六一―二五―一 ☎〇四七―四四八―二八三三</p>	<p>御瀧不動尊 金蔵寺 公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>副理事長 梨本三千代</p> <p>〒二七三―一〇八五三 千葉県船橋市金杉六一―二五―一 ☎〇四七―四四八―二八三三</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>参与 鈴木トヨ子</p> <p>〒二七三―一〇八五三 千葉県船橋市金杉六一―二五―一 ☎〇四七―四四八―二八三三</p>	<p>真言宗智山派 竹林寺 公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>常務理事 海老塚るり子</p> <p>〒七八一―一八二二五 高知県高知市五台山三五七七 ☎〇八八―一八八―二一三〇八五</p>
---	---	--	--	--	--	---	---	--	---	---	---	---	---

〈順不同〉

新年 賀 謹

令和七年 乙巳

妙智會教団

〒一五〇一〇〇五三
東京都渋谷区代々木三三三三
〇三三三七〇一五四〇三
FAX 〇三三三七〇一五三四九

株式会社大陸旅遊

取締役
営業部長 永田 政夫

〒一六九一〇〇七五
東京都新宿区高田馬場
一三三一一八一八九二五
〇九〇一三二五一一四〇九一

新年名刺交換協賛の
お願いを申し上げましたところ、
多くの方々よりお申込み頂きまして、
厚く御礼申し上げます。
茲に掲載誌をお送り申し上げまして、
御礼にかえさせて頂きたいと存じます。

〈順不同〉

report

第131回 文化講座

能登半島地震
被災者支援のあり方
トラウマと
グリーフケア
について

9月27日(金)、谷中の天王寺にて第131回文化講座が開講されました。4月の講座に続き全国青少年教化協議会神仁代表執行理事が「能登半島地震被災者支援のあり方」トトラウマとグリーフケアについて」と題して心のケアと防災について話されました。

能登半島地震発生後、専門家の間では「さよならのない別れ」と表わし、被災者の心のケアの重要性を説きました。傾聴を敬聴と置き換え、「下手な聴き手とは」「上手な聴き手とは」を具体的に列挙されましたが、これは私たちの日常でも、また平時でも、とても大切なことで、日頃より心がけていく必要があると思いました。

下手な聴き手とは――

・言おうとしたり、考えている流れを妨害する人

- ・問題をそらしてしまう人
- ・まだしゃべっているのに、もう自分の答えを考えている人
- ・答えを一緒に考えてくれず、すぐ助言をする人
- ・皆と同じだと言って、話を一般化する人
- ・すぐに結論を出し、話の邪魔する人
- ・問題を決め付けようとする人
- ・理性的にも感情的にも、今ある状況の外に立つ人
- ・手足や姿勢の位置を頻繁に変える人
- ・「私もそうだった!」「貴方の気持ちはわかる!」と簡単に言う人
- ・沈黙や間をあけてはいけなさと思っている人
- ・質問を避ける人

上手な聴き手とは――

- ・こころを開いて、受け入れるような態度で「そうだ」といつてくれる人
- ・暖かく、適切に接してくれる人
- ・黙って、成長の節目を聴いてくれる人
- ・ほんとうのことを全部知っている、というふりをしない人
- ・感情を感じ取ってくれる人
- ・同じ気持ちになって、内面の状況に立ち入ってくれる人

- ・考えや気持ちを反映してくれる人
- ・批判をせず、あるがままの自分を受けとめてくれる人
- ・口ごもっても、そのまま喋っていく人
- ・聴き手側の自分の関心や欲求を、押しつけて聴いてくれる人
- ・このことを踏まえ、参加者が3グループに分かれワークショップを実践しました。後日、参加者から友人の話聴き手として実践できましたと、報告がありました。



大阪府 佛教会

第59回 佛教徒大会 報告

令和6年11月12日大阪府佛教会第59回佛教徒大会が、ホテル日航大阪を会場に開催され、全日仏婦より東伏見具子会長、花岡真理子理事長、米田陽子常務理事が出席し大会をお祝いたしました。

大阪府佛教会会長村山廣甫師は挨拶の中で、来年9月5、6日開催される「第47回全日本仏教徒会議大阪大会」は、『無量の「いのち」をすべてのいのちを慈しむ』を

大会テーマとして命の大切さ、ここに生かされている尊さを仏教の立場で発信していこうとお話しされました。又、今年8月比叡山山上において仏教、イスラム教、神道、キリスト教等宗派を超えて出席者全員で平和を祈ったことを例に挙げ、仏教者として寺院として出来る事は「祈り」であると恒久平和を呼び掛けられ、改めて全日仏婦の大切にすべき事を再確認いたしました。

引き続き講演会となり、大阪・関西万博のテーマ事業プロデューサー、ジャズピアニスト、数学研究者、STEM教育者、メディアアーティストの中島さち子氏が紹介され、「創造性の民主化社会」分断から協奏へ：身体性×感性×理性の曼荼羅」と題して講演され多岐にわたりお話いただきました。

講演では教育者の立場から教育・学びについて、現代社会に直面す

第36回 成道会の 集い

12月4日(水)有楽町マリオン朝日ホールにて東京都仏教連合会主催、全日本仏教婦人連盟後援による成道会が開催されました。



第1部の東京都仏教連合会田中昭徳会長法要の下に当連盟六名の有志で献灯、献花、献香のお役を勤めさせていただきました。

第2部は「見えないものを見る――仏像がつなぐもの」と題し、文筆家で地域文化コーディネーターの對馬佳菜子氏が講演され、続いて、栃木県鹿沼市に仏像修理工房・三乗堂を立ち上げた井村氏、中氏、森崎氏の四名が仏像に対する熱い思いを語られました。最後に東京都仏教連合会三吉廣明会長のご挨拶にて閉会となりました。

なお、当日は250名の参加者でした。



能登半島の 高校生支援 始まる

私は、1月1日に起きた能登半島地震によって家屋が準半壊となり、3ヶ月の断水生活を余儀なく過ごす事になり、水道をひねると水がでるといふ当たり前の生活に改めて、水のありがたさを知りました。自衛隊の入浴支援で数ヶ月ぶりに風呂に浸かった時の気持ちよさ、地域の人達との交流もあり、人の

高1男子



1月1日の震災で、私の家にお寺の土砂が入り危険なため、仮設住宅で暮らしています。私にとっては、17年間暮らしてきた、大切な場所なので、とても悲しかったです。また、書道部に所属しており、震災があつてすぐに作り上げた作品がありがたいことにたくさんの方々の目にとまり、全国各地での活動が増えました。そこで、私にできることは、書を通じて、少しでも勇気と元氣、感動を届けること、能登半島の震災を風化させないことだと思っています。高校生の今だからこそできることをして頑張っていきたいです。そして、私は将来、保育士として大好きな能登で働くために帰ってきたいと思っています。

高2女子



私は建築士になりたいと思っており、日々学校で建築について学んでいて、進路についても建築学科のある大学へ進学することを決めました。これからもご支援いただけるよう、頑張りますので、今後もしよろしくお願ひします。



高3男子



全国青少年教化協議会との共同事業で、東日本大震災（平成23年・2011年）で被災した進学や就職を希望している高校生の授業以外に、必要な学習費用を1年12万円（1か月1万円）支給してきました。当連盟では現在6名の高校生を支援しています。これまでに29名の生徒が卒業し、社会で活躍しています。今年度より令和6年度能登半島地震にて被災した子どもたちも対象として、支援を開始させていただくこととなりました。便りが届きましたのでご紹介いたします。

高3女子



私は来年の二月で十八歳になります。進路について意識し始めるようになりました。クラスの求人票を見て各企業について調べたり、担任の先生に進路について相談したりしています。進路実現に向けて少しずつ努力を始めています。アルバイトも二年間継続できています。少し仕事にも余裕が出てきました。一方で、仕事に慣れてきたこともあり初歩的なミスが目立つようになりました。

（ウクライナ出身）

高1男子（ウクライナ出身）



私は高校1年生になり、日本人だけでなく、あたらしくさまざまな国の友達もできました。去年のクラブは吹奏楽団にしようとして、サックスを演奏することに専念していましたが、今年からはクラブを太鼓に変更して、日々太鼓のぎじゅつ向上にはげんでいます。今年、太鼓の大会で日本一をめざしてがんばります。

高2女子



「初心忘れるべからず」という言葉通り、もう一度自分自身を見つめなおして集中して仕事を実践していきたいと考えています。

奨学生に選ばれたことは、自分自身を成長させる良い機会だと思います。この機会を無駄にすることなく、将来の目標に向かって一層努力していきたいと思っています。将来的には、社会に貢献出来るような人材になり、次世代の学生たちと同じような支援が出来るようになりたいと思っています。今は次のテストで更なる成績向上を目指し、部活動においては県大会での初戦突破を目標にしています。

高1女子



私は現在一学年に所属しています。三月に受験をし、不安と希望を抱きながら入学してきましたが、次第に不安も解けクラスメートとも仲良く、そして楽しく過ごしております。授業では中学校とは違う内容に一生懸命に取り組んでいきます。そして、先月の1期審査では学年で上位の成績を取ることができ、今後これを維持していきたいと思っています。

優しさを感じました。

学業では、中学校生活最後の3学期は殆ど登校できずリモート授業で参加していました。家で1人で予習復習をして受験対策、画面ごしでも友達の様子を見ると安心しました。そして、被災後の初登校は卒業式前日でした。久しぶりに会う友達と話すことほど嬉しいこととはなく、卒業式前日という事も相まって、切なさも感じました。

このような辛い被災生活を送りましたが、高校受験ではかなりの手応えがあり、テストではクラス1位を取る事もできました。僕の将来の夢は、まだ曖昧で2年生になるまでには決めたいので、勉強だけでなく、ボランティア活動に積極的に参加したり読書で知恵をつけたいです。

高3女子



私は令和6年能登半島地震で被災し、自宅が全壊しました。

それからの毎日は当たり前の事が当たり前ではなくなりました。現在は仮設住宅で生活し、高校にも通うことができるようになりましたが、発災当初は、高校の校舎が被災したことで登校することができなくなり、車内でオンラインでの授業を受けていました。当時は常に自宅の修繕費や生活、進



11月	8日	5日	30日	21日	18日	17日	15日	10月
November	真言宗豊山派管長川俣海淳 猊下就任晋山祝賀会(ウエ スティン都ホテル京都) (公財)全日本仏教会第8 回花まつりポスター及び絵 はがき新デザイン選定審査 会(明照会館)		第71回全日本仏教婦人連盟 大会(東京プリンスホテル)	(公財)全日本仏教会第2 回総務財政審議会(明照会 館)	第5回運営委員会大会打ち 合わせ(東京プリンスホテ ル)	第58回仏教伝道文化賞贈呈 式(仏教伝道センタービル)	第1回編集会議(樞寺)	October

**仏婦
NEWS抄**

私たちの
日々のあゆみ
2024年10月~12月

12月	27日	25日	19日	11日	5日	4日	29日	28日	25日	22日	12日
December	「全佛婦」発送・仕事納め 会館	(公財)全日本仏教会第3 回社会・人権審議会(明照 会館)	(公財)全日本仏教会第3 回総務財政審議会(明照会 館)	修正会打ち合わせ(明治記 念館)	第2回編集会議(樞寺)	第36回成道会の集い(有楽 町朝日ホール)	(公財)全日本仏教会第2 回国際交流審議会(明照会 館)	第13回子どもたちに豊かな 地球をつなぐキャンペーン 会議(東京グランドホテル)	第6回運営委員会(事務局 オンライン会議)	回理事會(明照会館)	第59回大阪府佛教徒大会 (ホテル日航大阪)



お知らせ

新年修正会

日 時：令和7年1月20日(月)
11:30~14:00(受付11:00)
会 場：明治記念館
東京都港区元赤坂2-2-23
☎ 03-3746-7711

第132回文化講座

日 時：令和7年2月12日(水) 14:00~15:30
会 場：谷中天王寺
〒110-0001 台東区谷中 7-14-8
電話 03-3821-4474
上善堂にて写経会をしますので皆さまご参加ください。

京都仏教セミナー

日 時：令和7年5月に予定しております。
会 場：青蓮院門跡、青龍殿(将軍塚)、京都迎賓館、
京都御所
※ 詳細については後日ご案内いたします。

**事務局
だより**



全日仏婦事業に多くの方々より
ご協力いただきありがとうございます。
また、それぞれの事業に活用させ
ていただきますので、どうぞ今後
ともよろしくお願いたします。
12月15日現在(順不同・敬称略)

- ▼新会員紹介
千葉真知子
- ▼写経運動にご協力の方々
村上和之 高橋節子 山口美和
高橋ふみ子
- ▼あおぞら奨学基金にご協力の方
神戸妙昌寺
- ▼災害支援金にご協力の方々
大会に出席された方々 桶屋良法
- ▼寄贈
大和証券(株)(ドロップ)

お写経のすすめ

Shakyo no Susume

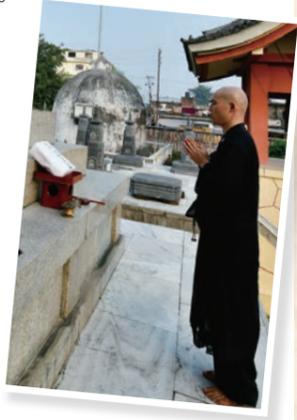
お写経は、仏教の經典の文字を一字一字、丁寧に書写すること、心身を清める修行として、大きな功德があります。經典は、お釈迦様のありがたい教えをまとめたものなので、お写経を繰り返すことでその意味を感じ取りながら仏教の教えを学ぶことができます。お写経とは本来、徳を積むための行為であり、見返りを求めて行うものではありませんが、お写経を始めるきっかけとして、まずはどんな効果があるか知りましょう。



納経の報告

10月から印度ブッダガヤ日本寺に駐在僧としてお勤めをしております戸田萌岳(真言宗智山派)師の手により11月21日に納経法要の後、宝篋印塔にお納めいただきました。

国際仏教興隆協会様からお写経を通しての光明施療院事業へのご支援に一同心より御礼申し上げますとのコメントが届いておりますので併せてご報告させていただきます。



お写経の効果

1. 指先を使うことで、**脳を活性化**させることができます
2. 姿勢がよくなり、**心と体**が落ち着いてきます
3. **自然の治癒力**が向上します
4. **集中力と忍耐力**がついてきます
5. **字が上手**になります
6. **イライラを解消**し、疲労回復がはかれます
7. 心が清浄になり、**安心の境地**が得られます

問合せ先

(公社)全日本仏教婦人連盟
☎ 151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷
4-5-10-205
【TEL】03-5772-0677
【FAX】03-6434-0184
【URL】http://jbfwf.jp
【MAIL】info@jbfwf.jp

般若心経 舍利礼文 十句観音経

写経用紙は上記の三種類を用意しております。必要枚数をお申し込みください。(ホームページからも印刷できます。)

- お写経はインド・ブッダガヤの「インド山日本寺」の宝篋印塔にお納めします。
- 奉納金は一卷につき般若心経1000円、舍利礼文・十句観音経各500円をお願いいたします。
- お納めいただいた奉納金は、日本寺境内にあります光明施療院において、ガヤ地区の医療活動から子供たちと保護者への健康、保健指導へと活用させていただきます。